

「行財政改革の推進に関するアンケート調査」 (調査パンフレット)



はじめに

市民の皆さまには、日頃より市政へのご理解、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

このアンケート調査は、船橋市が、今後将来への対策として進めていく取り組みについて、
広く市民の皆さまのご意見をお聞きし、
今後の行財政改革の推進にあたっての基礎資料とするものです。

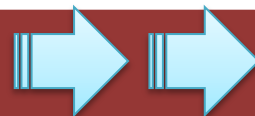
お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願いいたします。

2018(平成30)年11月

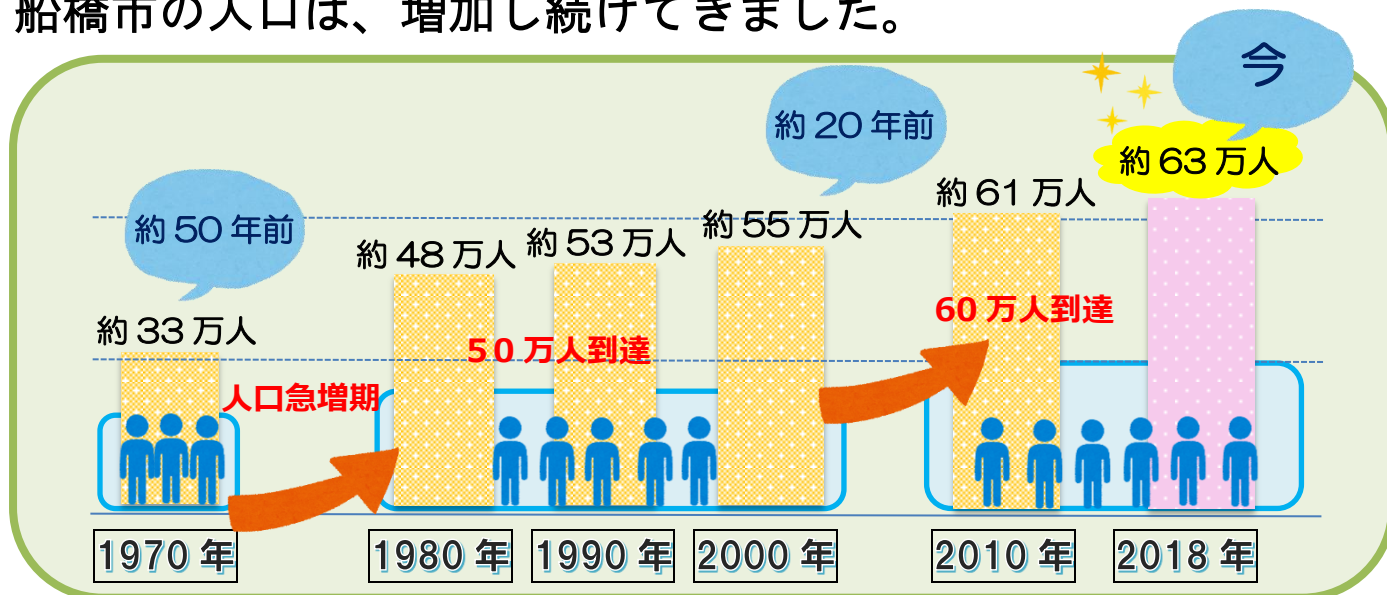
船橋市長 松戸 徹

※アンケート調査票に回答する前
にお読みください。

これまでの船橋市の歩みについて



1970年代の人口急増期から、今（2018年）にいたるまで
船橋市の人口は、増加し続けてきました。



船橋市の市民サービスは、これまで

働く世代の人口増加による税収増に支えられてきています。



船橋市は、市民の皆さまのニーズに対応するため、
これまで、たくさんの事業を推進してきました。

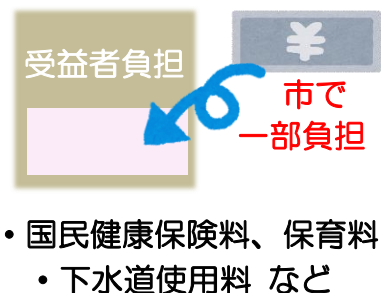
公共施設の整備 を積極的に実施



きめ細かい 市の独自施策を実施



市民負担軽減のため 市が費用の一部を負担





今後の船橋市の課題について

課題①

少子高齢化がますます加速していきます

船橋市においても10年後は、働く世代の減少による税収減や社会保障経費のさらなる増加が見込まれます。



市民の約4人に1人が65歳以上に



高齢化が進むと…

介護や医療などの
社会保障経費が増加します。

働く世代の人口が減ると…

市税収入が減少します。

課題②

公共施設は老朽化し、返済する公債費は増大していきます

◆公共施設などが次々と老朽化します

急激な人口増加にともない整備された多くの公共施設等が老朽化し、その維持・更新には、今後多額の費用が見込まれます。



◆インフラの整備を進める必要があります

厳しい財政状況においても、市民の皆さんが安心して暮らすうえでは欠かせない、道路や河川などの都市基盤の整備を進めていく必要があります。



◆借金の返済が急激に増加します

近年、船橋市は学校の耐震化や清掃工場の建て替えなど公共施設の整備に積極的に取り組んできましたが、それらの多くは国からの補助金のほか、借りたお金（市債）で賄われています。

今後、市債を返済するためのお金（公債費）が増大し、高水準で推移していくことが見込まれます。

これらに加えて

◆支出が収入を上回り貯金が減少しています

市の貯金（財源調整基金）の残高が徐々に減少しており、このままでは近い将来、底をついてしまう可能性があります。



これらの課題を解決していくために…

これまでのやり方や考え方を変えていくこと

（＝行財政改革） が必要です！



船橋市の現在の行財政改革の取り組み

限られた財源の中で、市民サービスを将来にわたって安定的に提供していくためには、今後、お金の使い方の見直しや収入を確保するための工夫、民間活力の導入や業務の見直し、効率的な組織体制の構築などの取り組みが必要です。

船橋市では、平成 28 年度に行財政改革推進本部を設置し、平成 29 年度からは外部有識者等で構成される「行財政改革推進会議」で行政のさまざまな課題について議論が交わされ、意見書としてまとめられました。



こちらからアクセス



※「行財政改革推進会議」の会議の様子や意見書は市のホームページでご覧いただけます。

ホームページ URL: <http://www.city.funabashi.lg.jp/shisei/jouhoukoukai/004/02/151/index.html>

アンケートご回答にあたってのお願い

このような視点から、ご意見をお聞かせください

視点その 1

市民サービスを**利用する立場**から
だけではなく

そのサービスを維持するためのお金を
一緒に負担していく立場から
ご意見をお聞かせください



視点その 2

10年後の船橋市の
未来を想像しながら
ご意見をお聞かせください

→ ありがとうございました。調査票の記入へお進みください